



2026年7月1日

各 位

会社名 T A N A K E N 株式会社
代表者名 代表取締役社長 中尾 安志
(コード番号：1450 東証スタンダード)
取締役専務執行役員
問合せ先 本社 統括兼内田 政美
コーポレート本部長
(TEL. 03-6264-5520)

当社取締役会の実効性の分析・評価結果の概要

当社は、取締役会の実効性を高め、企業価値を向上させることを目的とし、「取締役会の実効性に関する分析・評価」を毎年実施しております。2025年度の実効性の評価の方法及び結果の概要をお知らせいたします。

1. 評価の方法

「取締役会の実効性評価に関する質問票」を2025年度の全取締役（社外取締役を含む）及び全監査役（非常勤監査役を含む）に配付し、全員から回答を得ました。

(1) 質問票の設問

- | | |
|------------------|----------|
| ① 取締役会の構成・規模について | (設問数：5問) |
| ② 取締役会の運営について | (設問数：8問) |
| ③ 取締役会の審議事項について | (設問数：8問) |
| ④ 取締役会の役割・責務について | (設問数：5問) |
| ⑤ 取締役会を支える体制について | (設問数：5問) |
| ⑥ 株主・投資家との関係について | (設問数：2問) |

(2) 設問に対する選択肢と回答

各設問に対する選択は4段階（4・3・2・1）とし、回答を選択した理由・改善点に関する記述欄を設けており、現状を把握すると同時に、理由・改善点について記載する方法で実施しました。

2. 評価結果の概要

(1) 当該質問票の分析結果から、各設問に対して、肯定的な評価である評価4、評価3の占める割合が、全質問項目の91%であることから、当社の取締役会の全体としての実効性は確保されていることが確認できました。今回は、特に下記の事項において実効性が確保できているものと評価されました。

- ① 取締役会を構成する社外取締役の兼任状況は適切であり、取締役会の人数、開催頻度、審議時間に問題はなく、社外取締役の問題提起を含めて、自由闊達な議論・意見交換ができています。
- ② コンプライアンス、事業リスク及びリスク管理体制に関して理解され、十分に議論されていること。
- ③ 関連当事者との利益相反が適切に管理されていること。
- ④ 監査役の調査権限・情報入手機会が確保されていること。
- ⑤ 取締役会は、経営戦略や経営計画を株主・投資家に説明できるようにIR部門と連携し機能していること。

(2) 取締役会の課題・改善点と認識された事項

- ① 代表取締役の後継者の計画については、議論が必要であること。
- ② 取締役会の構成に関しては、女性の登用が必要であること。
- ③ 資本コストを上回る資本収益性を達成するための取組についての議論等が不足していること。
- ④ 取締役会に提出される資料は分量が多く、社外役員は、検討時間が制約されること。

3. 今後の対応について

課題・改善点と認識された事項を踏まえて、取締役会の実効性を高めていきます。特に、継続的な課題となっている項目は下記の2項目です。

- ① 代表取締役の後継者の計画については、議論を深化させる必要があること。
- ② 取締役会の構成については、女性登用の観点から更なる多様性を推進する必要があること。

当社は、今後も継続して毎期、直前期を対象期間とした取締役会の実効性評価を実施し、評価結果を踏まえて、より実効性のあるコーポレートガバナンス体制となるよう改善に努めていきます。

以 上